

# [ 社会の学習法 ] …「わかった、できた、身についた」のために

## 1 授業への取り組み方

- (1) 授業道具を忘れないこと。分野が変わるときに使う教科書を必ず確認すること。分野を問わず地図帳は必要です。
- (2) 提出物は確実に提出すること。
- (3) 授業の学習課題をしつかり確認し、その時間に何を学習するのか、どんな力を身につけるのかを、しつかりととらえましょう。また、「問い」に対して本気で考えましょう。
- (4) 社会の授業では話し合いや共同作業など、グループ活動をよく行います。積極的に意見を述べたり、聞き合ったり、教えてあげたりしましょう。
- (5) グループ活動等で座席の向きが変わることがありますが、授業中の発表や先生の説明などの時は、必ず話し手に体を向けて聞きましょう。
- (6) 授業中にペン回しや手遊びはしないこと。

**\* いつ、どこで暗記するの？ … 授業以外です！ 家です！**  
**\* では、授業では何がわかればいいのか？ (人が見ていないところでの努力)**

## 2 ノートの取り方

- (1) 基本的にワークシートを使いまします。書き込み欄には丁寧に記入しましょう。漢字も正確に。
- (2) 資料の読み取りやまとめは、人に頼らず自分の言葉で書くようにしましょう。
- (3) 考えを記入する欄は、自分の考え、仲間との考え、先生の説明等を区別して記入しましょう。
- (4) ワークシートの右側は余裕を持たせたり、余白をうまく使ったり、疑問、感想など、授業中のメモに使用しましょう。
- (5) 授業の中で、難しい、覚えにくい、わかりにくいことをメモすることが、何より大事です。

### [ノート記入の例]

☆学習課題

- ・本時で必要な復習
- ・資料からわかったこと
- ・自分の考え  
グループでの話し合い
- ・板書等

・略地図を使ったまとめ

文によるまとめ

○難しい、覚えにくい、  
わかりにくいこと

**\* 授業とは…「家で勉強しなくてはならないこと」が「わかる」場です**

## 3 家庭学習の仕方

- (1) 復習を必ず行うようにしましょう。その日に学習した内容はその日のうちに復習しましょう。復習に関して次のことを心がけましょう。
  - ・教科書を読み直しましょう。ただし、読んだ本文をただノートに書き写す学習は、あまり力がついた例を見ることがありません。
  - ・以前に学習したこととのつながりを意識しましょう。地理と歴史の内容もつながっているかもしれません。
- (2) 暗記しなくてはならない語句を覚えることは、各自の努力です。ノートに語句練習コーナーをつくり、漢字のものは漢字で正確に書けるようにしましょう。
- (3) 習った範囲のワークに取り組みましょう。2回解けるものを用意しています。

## 4 試験勉強の仕方

- (1) テスト範囲を確実に確認しましょう。
- (2) 教科書見開き2ページ単位や特定の地方や時代の区切りだけで復習をせず、テスト範囲全体を通した学習計画を立てましょう。特に歴史は範囲全体の流れが見えるまとめをしましょう。
- (3) テスト範囲のワークや単元テストの復習をくり返し行いましょう。
- (4) 試験が終わったら、できなかった、わからなかった箇所を必ず復習しましょう。記号問題は正解以外の答えにも目を向け、判断する理由などもまとめておきましょう。

## 5 その他 …社会科は、「広い視野」と「つながり」が大事

- (1) 普段の授業の復習・試験勉強にかかわらず、上手に学習のまとめができるように、普段から世界・日本の略地図を描けるようにしておきましょう。
- (2) 新聞やニュース、市の広報等にも目を向けるようにしましょう。世の中の話題や社会情勢に関心をもつようにしましょう。
- (3) 授業以外でも地図帳に目を通す習慣をつけましょう。地図上の記号や統計・ランキングから、知らない土地に対するイメージができてきます。また、日本と海外とのつながりや、自然環境の影響等も見えてきます。文章のない地図帳の内容を、自分の言葉で文章にまとめたりできると、関心も実力も高まります。